

ユーシン

# 景況レポート

Number.113  
(2022.7~9月期)

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業230企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

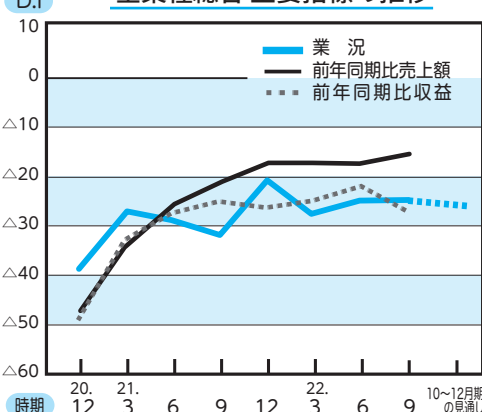
調査結果の  
あらまし

概況(7月▶9月期)

## 業況は、製造業を除く全業種で改善

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は△24.8と、2022年4~6月期(前期)の調査より0.9%改善し、景況感は小幅な良化に留まりました。業種別では、製造業で前期比15.3%低下しましたが、卸売業で同比8.3%、小売業で同比14.6%、サービス業で同比1.0%、建設業で同比5.5%、不動産業で同比11.1%改善しました。項目別では、売上額判断D.Iが△8.3と前期比7.4%改善、収益判断D.Iが△21.7と同比2.1%低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△15.7、前期比1.3%改善、同収益判断D.Iが△27.0、同比5.7%低下しました。雇用面では、人手過不足判断D.Iが△10.9と前期比横ばいで、人手不足感の解消には至っておりません。また、前期比残業時間D.Iにおいては前期比3.9%改善しました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比3.1%低下しましたが、借入難易度は、特に大きな変化は見られませんでした。経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が32.2%、「同業者間の競争激化」が28.3%、「原材料高」が25.2%と上位に挙げられました。

全業種総合 主要指標の推移



また、特別調査の「中小企業におけるSDGs(持続可能な開発目標)の取組状況について、どのような認知度にありますか」の質問に対し、「意味はある程度わかる」との回答が62.2%と最も多く、情報源としては報道機関(テレビ、新聞等)との回答が83.0%という結果となりました。

◎業況判断D.I=「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標 ◎特別調査の詳細は8~9ページに掲載しています

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

## 業況の見通し判断D.Iは△26.1、当期実績比1.3%低下の見込み

来期は、製造業・サービス業・不動産業で横ばい、卸売業・建設業で低下を見込んでいます。項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比2.2%、収益判断D.Iでは同比8.7%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比2.6%低下を見込んで

ています。雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比0.8%低下、残業時間判断D.Iが同比0.9%改善の見通しとなっています。当面の重点施策では、「経費の節減」が60.4%、「販路を広げる」が35.7%、「人材を確保する」が19.6%と上位に挙げられました。

### 景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました)

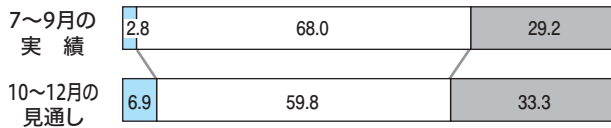
業種名	時期	4年4月~6月	4年7月~9月	4年10月~12月見通し	概要	要点
総合		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、0.9%改善し△24.8。来期は、1.3%低下し△26.1の見通し。	
製造業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、15.3%低下し△26.4。来期は、横ばいで△26.4の見通し。	
卸売業		☔️	☔️	☔️	業況判断D.Iは、8.3%改善し△25.0。来期は、12.5%低下し△37.5の見通し。	
小売業		☔️	☔️	☔️	業況判断D.Iは、14.6%改善し△41.5。来期は、4.9%改善し△36.6の見通し。	
サービス業		☔️	☔️	☔️	業況判断D.Iは、1.0%改善し△29.0。来期は、横ばいで△29.0の見通し。	
建設業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、5.5%改善し△5.6。来期は、2.7%低下し△8.3の見通し。	
不動産業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、11.1%改善し△11.1。来期は、横ばいで△11.1の見通し。	

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☁️ ☁️ ☔️ ☔️ → 低調 / ☔️ 業況改善 ☁️ 業況悪化 ☁️ 業況変化なし

■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

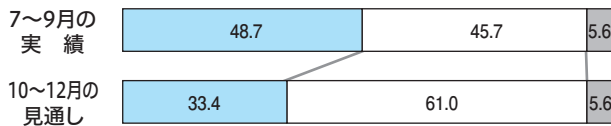
【業況】



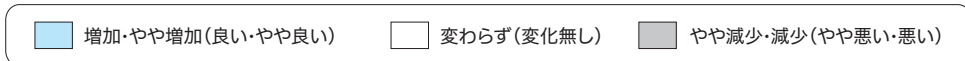
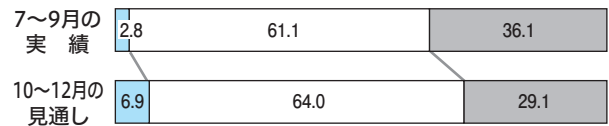
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△26.4、前期比15.3%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△19.4と前期比4.1%、収益判断D.Iが△33.3と同比19.4%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△27.8、前期比11.1%、同収益判断D.Iが△41.7、同比19.5%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△6.9と前期比4.2%改善し、人手不足感がやや弱まりました。また、前期比残業時間D.Iは△8.3と前期比2.8%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が19.4%（前期23.6%）、「予定あり」が19.4%（同16.7%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は8.3%（前期5.6%）となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が41.7%、「売上の停滞・減少」が36.1%、「同業者間の競争激化」・「利幅の縮小」がそれぞれ23.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

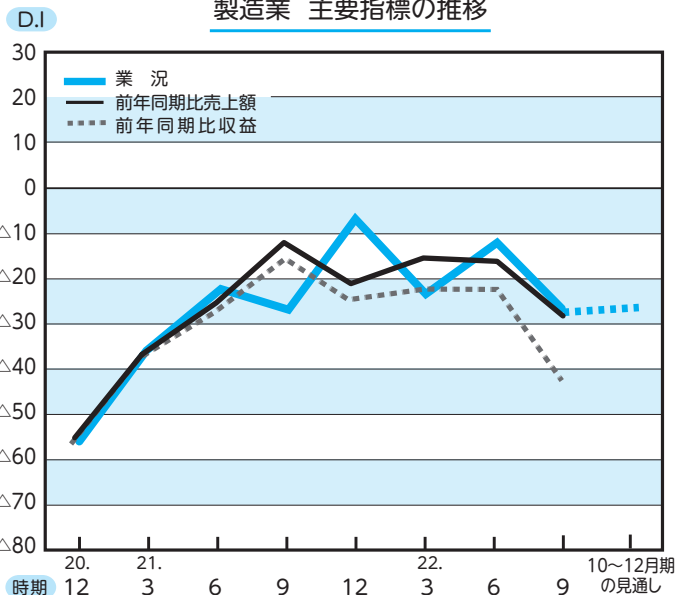
業況の見通し判断D.Iは△26.4、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比4.1%、収益判断D.Iが同比11.1%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比4.2%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比1.4%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が66.7%、「販路を広げる」が43.1%、「人材を確保する」が20.8%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



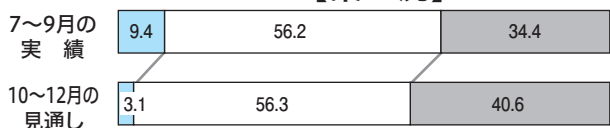
調査員のコメントから

原材料の価格高騰と材料の納期遅れが懸念される。一方、受注は回復傾向にあり販売価格に転嫁することを検討している。

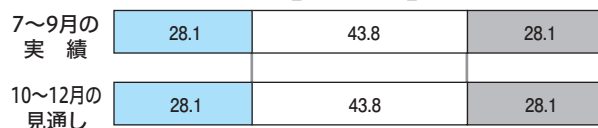
■ 卸 売 業

回答企業数32企業(回答率97.0%)

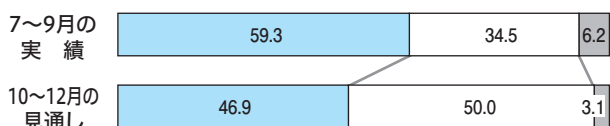
【業 況】



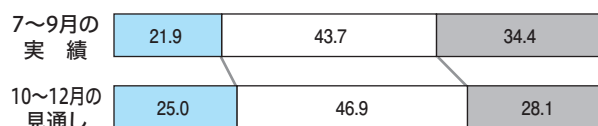
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△25.0、前期比8.3%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが0.0と前期比15.2%、収益判断D.Iが△12.5と同比2.7%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△12.5、前期比2.7%改善、同収益判断D.Iが△21.9、同比6.7%低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△3.1と前期比6.0%改善し、人手不足感がやや弱まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比3.0%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.4%（前期9.1%）、「予定あり」が9.4%（同9.1%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は3.1%（前期6.1%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が46.9%、「利幅の縮小」・「仕入先からの値上要請」がそれぞれ34.4%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

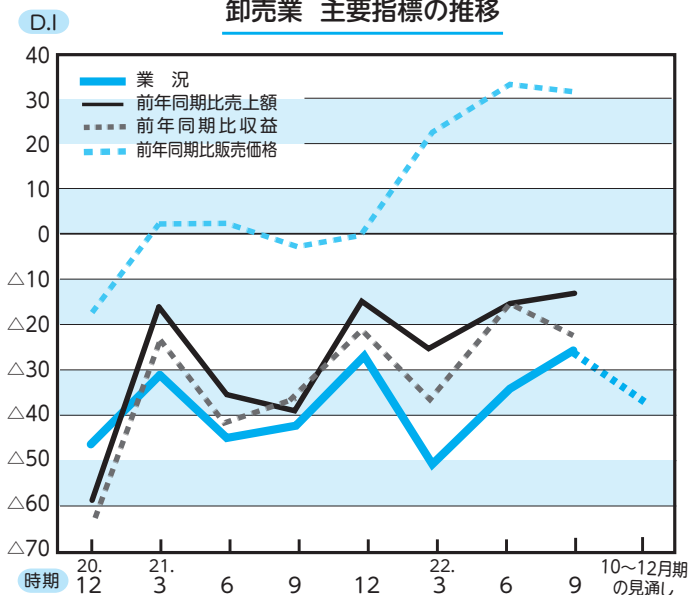
業況の見通し判断D.Iは△37.5、当期実績比12.5%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iが同比 9.4 %改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比6.2%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比3.1%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が65.6%、「販路を広げる」が53.1%、「情報力の強化」が28.1%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



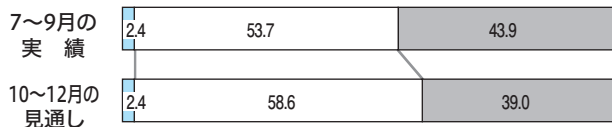
調査員のコメントから

顧客(売上)が戻りつつあり業況は上向き傾向。しかし、人件費増加や為替レートの影響により利益確保が課題である。また、作業場の衛生面管理を強化し、安全な商品提供を心掛けている。

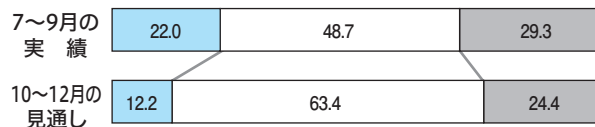
## ■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

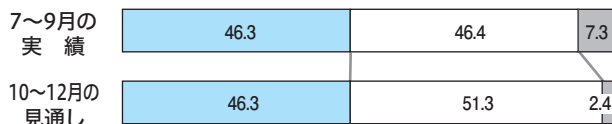
## 【業 況】



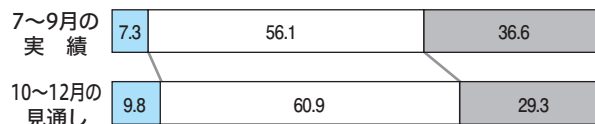
## 【売上額】



## 【仕入価格】



## 【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

## 概況(7月▶9月期)

## 業況判断D.Iは△41.5、前期比14.6%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△7.3と前期比24.4%、収益判断D.Iが△29.3と同比17.0%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△19.5、前期比17.1%、同収益判断D.Iが△39.0、同比7.3%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△9.8と前期比7.4%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△7.3と前期比2.5%改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が9.8%（前期9.8%）、「予定あり」が2.4%（同7.3%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は0.0%（前期4.9%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」・「大型店との競争激化」がそれぞれ39.0%、「同業者間の競争激化」・「利幅の縮小」がそれぞれ29.3%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

## 見通し(10月▶12月期)

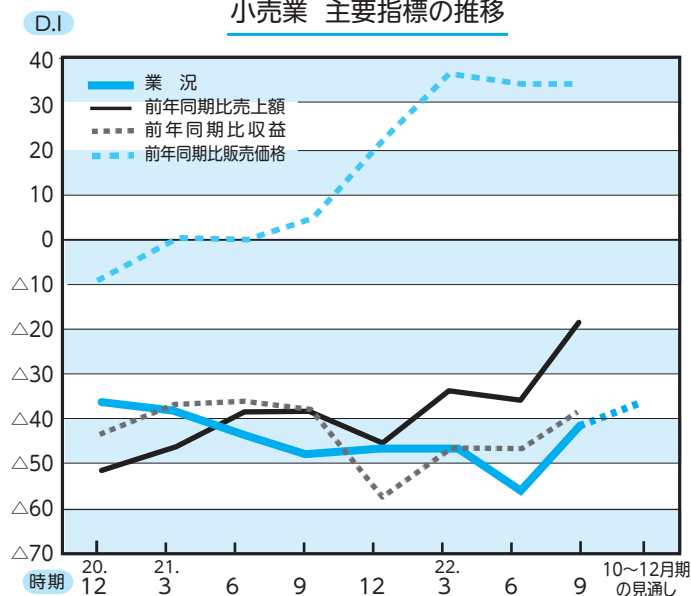
## 業況の見通し判断D.Iは△36.6、当期実績比4.9%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比4.9%低下、収益判断D.Iが同比9.8%改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が70.7%、「品揃えを改善する」が26.8%、「売れ筋商品の取扱」が22.0%と上位に挙げられました。

## 小売業 主要指標の推移

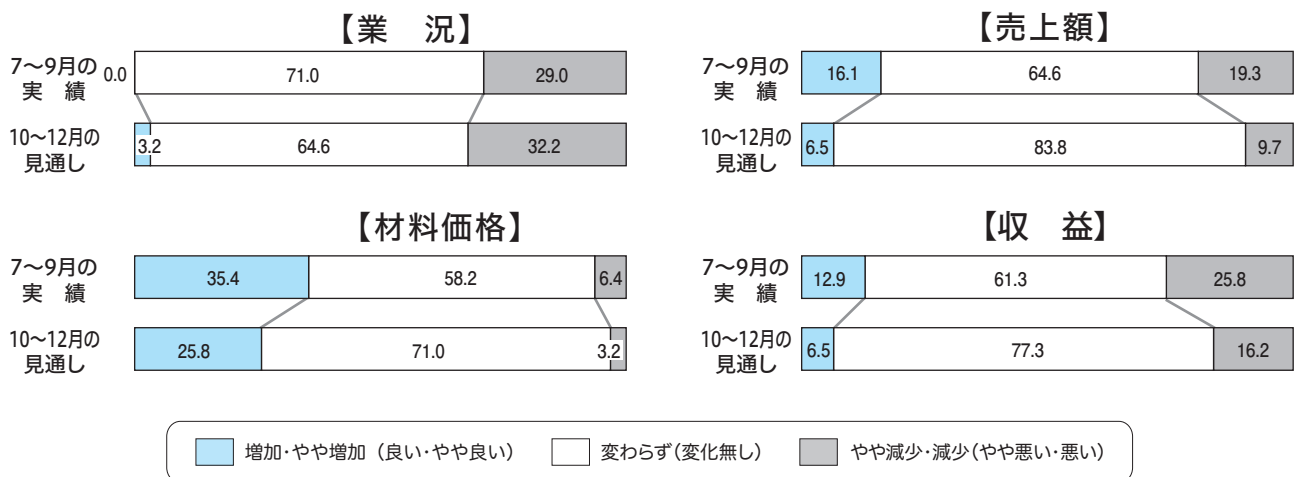


## 調査員のコメントから

商品ラインナップを見直し、ネット販売に注力し売上確保に努めている。なお、仕入価格が上昇しており利幅が縮小傾向にある。

■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)



景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△29.0、前期比1.0%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△3.2と前期比10.1%、収益判断D.Iが△12.9と同比10.4%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.0、前期比13.3%、同収益判断D.Iが△3.2、同比16.8%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△12.9と前期比0.4%改善し、人手不足感がやや弱まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比3.3%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が3.2% (前期10.0%)、「予定あり」が3.2% (同0.0%) を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は6.5% (前期0.0%) となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が29.0%、「材料価格の上昇」が25.8%、「売上の停滞・減少」が22.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

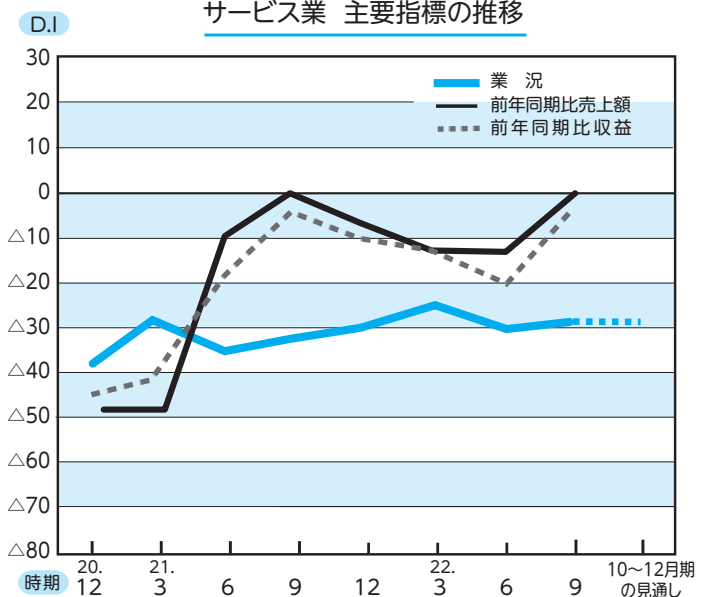
業況の見通し判断D.Iは△29.0、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iが同比3.2%改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△6.4%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比3.2%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が41.9%、「販路を広げる」が32.3%、「宣伝・広告の強化」が22.6%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



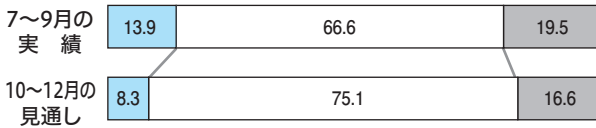
調査員のコメントから

予約客対応で売上は安定している。また、充実した各種サービスを心掛け、固定客からの紹介等で販路拡大に努めている。

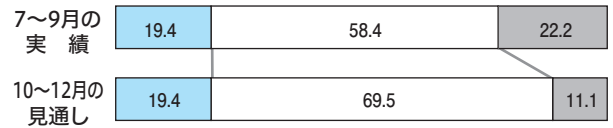
■ 建設業

回答企業36企業(回答率100%)

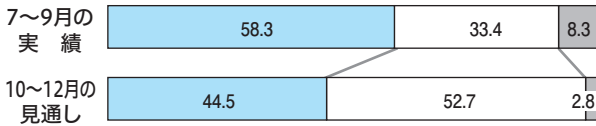
【業況】



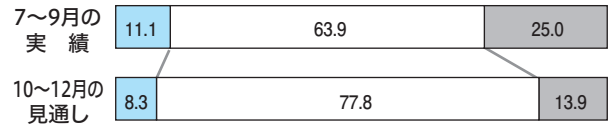
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△5.6、前期比5.5%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△2.8と前期比11.1%、受注残判断D.Iが△5.6と同比22.2%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△22.2、前期比13.9%、同収益判断D.Iが△30.6、同比19.5%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△19.4と前期比2.7%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは8.3と前期比19.4%上昇し、やや増加を示しています。

借入金の動きでは、「借入した」が19.4%(前期22.2%)、「予定あり」が19.4%(同19.4%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は13.9%(前期8.3%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が55.6%、「同業者間の競争激化」が41.7%、「人手不足」が27.8%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

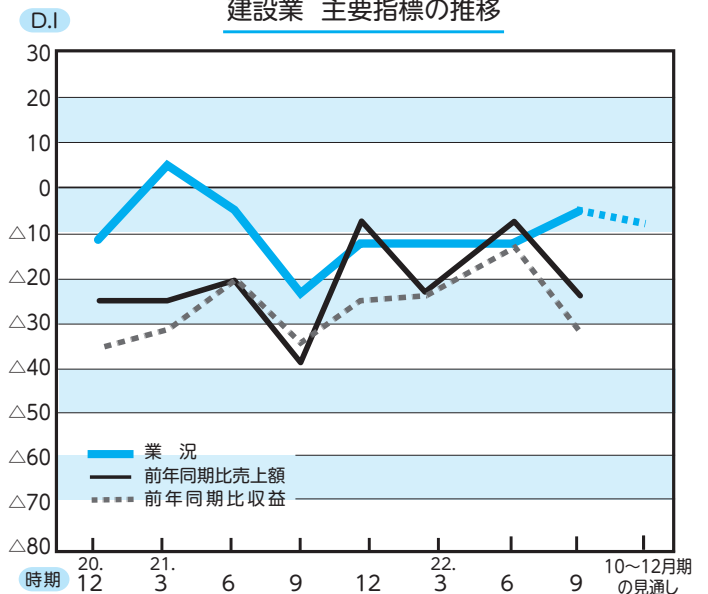
業況の見通し判断D.Iは△8.3、当期実績比2.7%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比11.1%、収益判断D.Iが同比8.3%ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比8.3%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比5.6%低下、残業時間判断D.Iが同比2.8%上昇の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が63.9%、「人材を確保する」が41.7%、「販路を広げる」が30.6%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



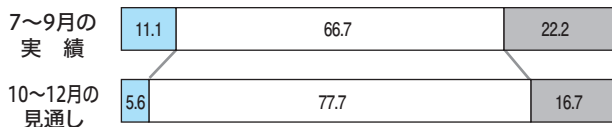
調査員のコメントから

公共工事受注は安定しているが、材料代等高騰により収益に影響している。また、若年層の離職率が高く人材確保が課題であるため、労働条件等の改善に努めている。

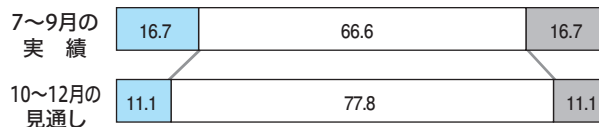
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

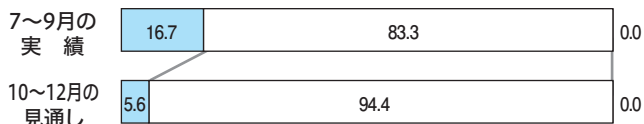
【業況】



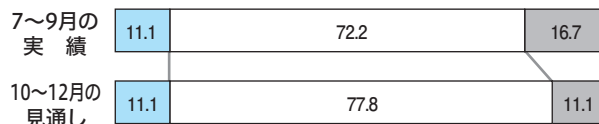
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△11.1、前期比11.1%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが0.0と前期比11.1%、収益判断D.Iが△5.6と同比16.7%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが22.2、前期比22.2%、同収益判断D.Iが16.7、同比11.1%ともに上昇しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.2と前期比5.5%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比5.6%低下

し、適正となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が22.2%（前期27.8%）、「予定あり」が16.7%（同16.7%）を示しています。

経営上の問題点では、「大手企業との競争激化」が38.9%、「同業者間の競争激化」が33.3%、「商品物件の不足」が27.8%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

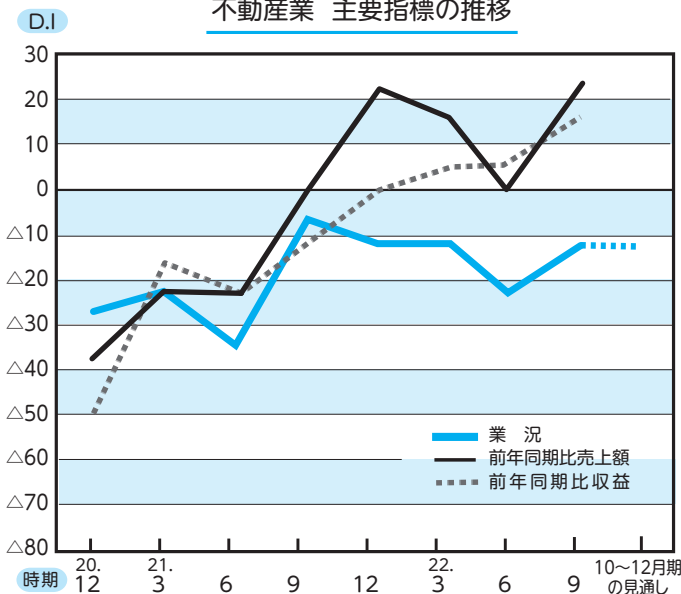
業況の見通し判断D.Iは△11.1、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iが同比5.6%改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比11.2%改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比横ばい見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が72.2%、「宣伝・広告の強化」が33.3%、「経費の節減」・「情報力の強化」がそれぞれ27.8%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



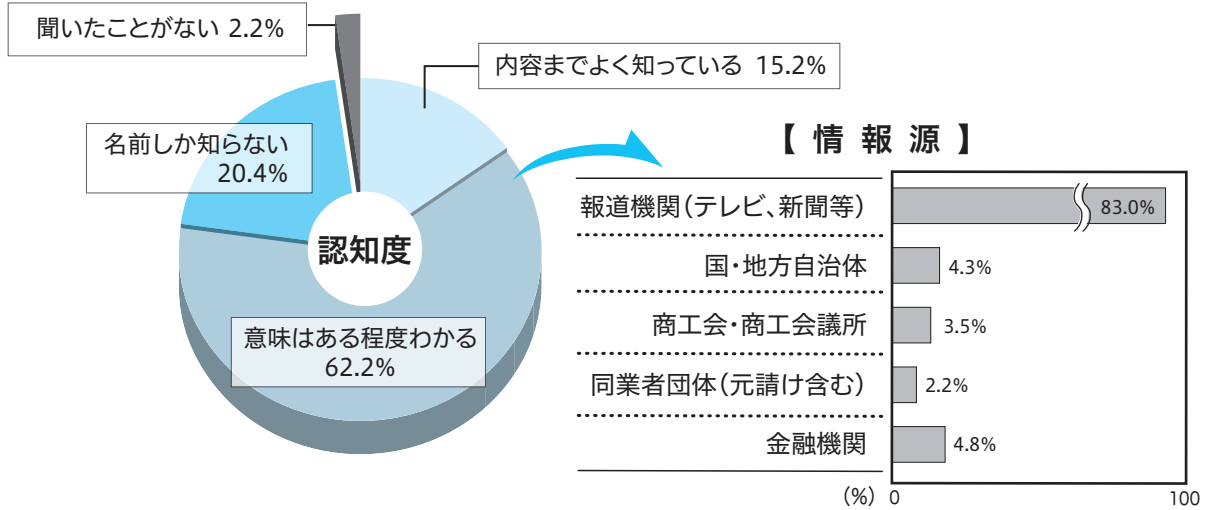
調査員のコメントから

コロナの影響もありモデルハウスの内覧者が減少しているため、ネット情報の高度化を活用し、自社情報の差別化に努めている。

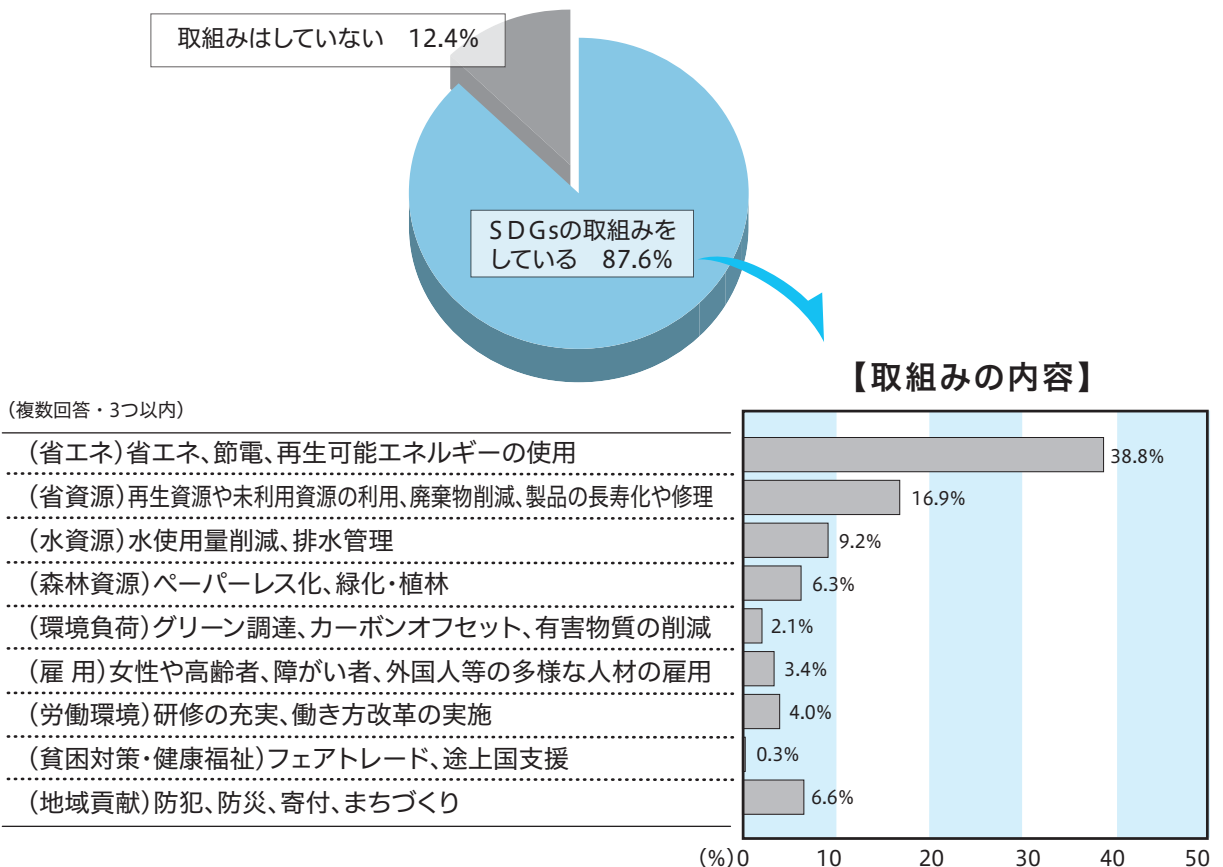
特別調査

# 中小企業におけるSDGs(持続可能な開発目標)の取組状況について

**問1** 貴社では、SDGs についてどのような認知度にありますか。

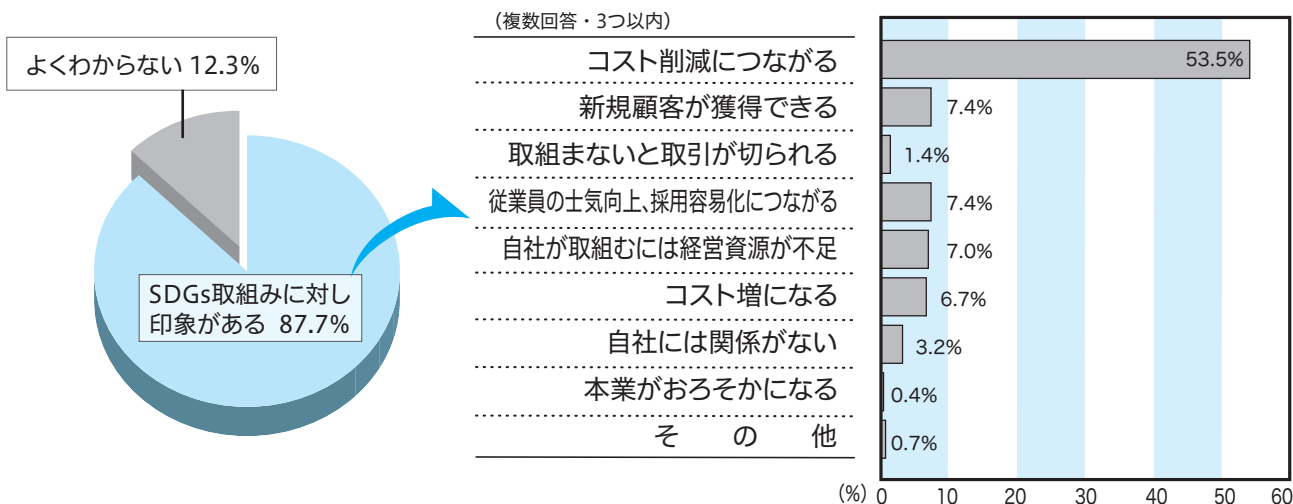


**問2** 貴社では、SDGsの理念の中でどの取組を行っていますか。また、最も取組んでいるものを選んでお答えください。

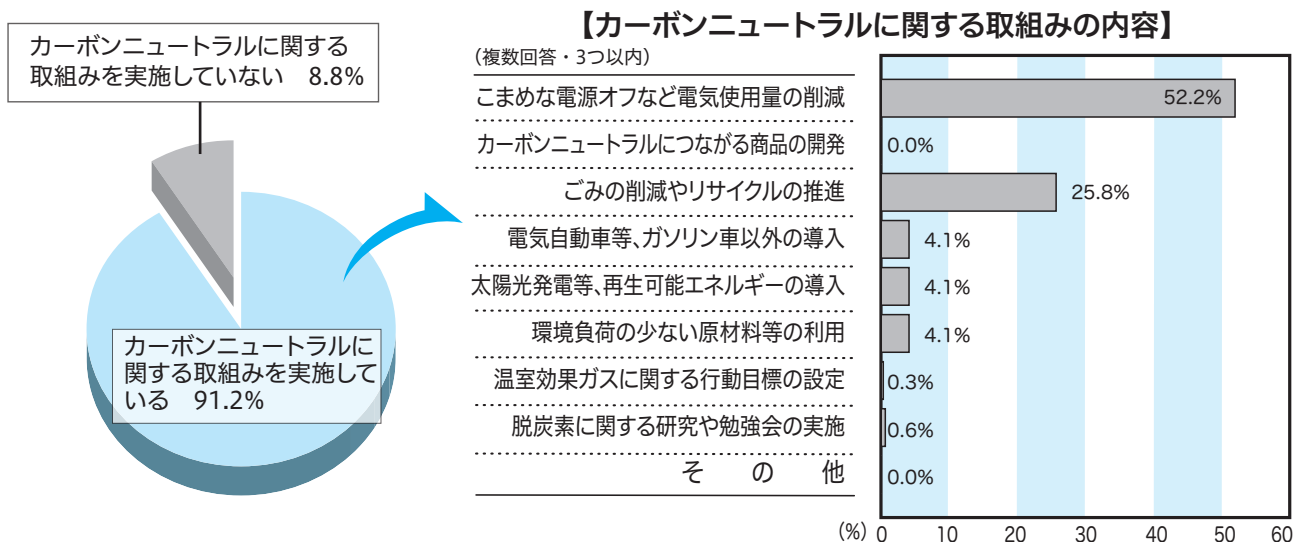




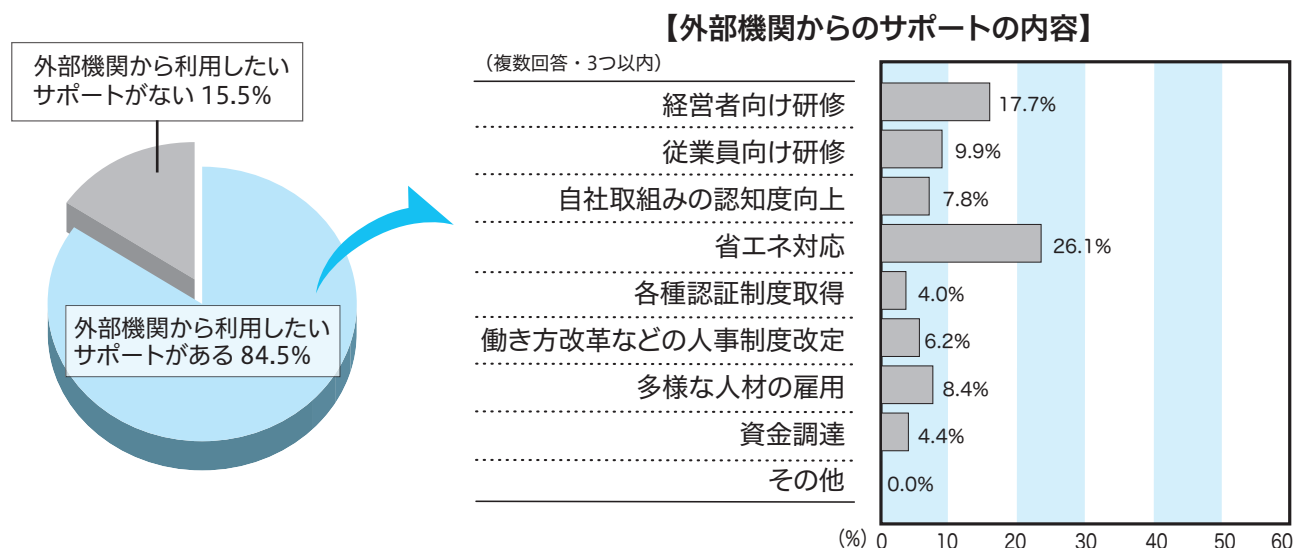
**問3** 貴社では、企業がSDGsに取り組むことについてどのような印象を持っていますか。



**問4** SDGsの取組みの一つとして、カーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量の削減ならびに吸収作用の保全及び強化)に関する取組みがあります。貴社で取組まれている施策は何ですか。



**問5** SDGsについて、外部機関(公的、民間問わず)からどのようなサポートを期待しますか。



提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただく  
と結城信用金庫のホームページに  
アクセスできます。

# 職域サポート契約制度

## 職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれかの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業主（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

## ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が18歳以上の方（但し、一般個人ローンは20歳以上の方）
- 保証会社の保証が得られる方

下記の  
ローン商品の金利を  
店頭表示金利から

# 年1.50%

引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

## 職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

### 一般個人ローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

### ブライダルローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

### カーライフプラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 10年以内

### 教育プラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 16年以内

### 子育て応援プラン

ご融資金額 100万円以内

ご利用期間 10年以内

### リフォームプラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 15年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

## 2024年版カレンダー「ユーシンのある街」写真コンテスト

結城信用金庫の店舗がある街で未来に残しておきたい風景・街並み・祭りなどをテーマに写真コンテストを開催中！

応募作品の中から優秀作品を選定し、2024年のカレンダーに採用します。

※応募要領につきましては当金庫ホームページをご覧ください。

### — 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地  
TEL(0296)32-2110 FAX(0296)33-0414  
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>